

3類型	農林水産物	通巻番号	2 - 19 - 011
地域資源名	えだまめ	認定日	平成19年10月12日
地域	山形県鶴岡市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名: 素材の魅力をそのまま持続させた「だだちゃ豆」加工品開発販売事業

会社名: 鶴岡市農業協同組合

所在地: 山形県鶴岡市日吉町3 - 7

連絡先: TEL: 0235-23-5090

事業概要(新たな活用の視点)

だだちゃ豆の特長である「味」を活かして、「生」や「冷凍品」での流通の他に、その「規格外品」を利用し周年流通をめざした「加工品」開発を行う。

だだちゃ豆生産量全体の20%は規格外品であり、その有効活用として、若年層をターゲットにコンビニエンスストアなど新たな販売チャンネルを開拓に取り組む。

顧客の利便性、満足度を高めた商品の開発によりだだちゃ豆の一層のブランド化と普及を図り、相場に左右されない生産体系を構築する。



鶴岡産だだちゃ豆

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・だだちゃ豆は他品種のえだまめと比較して豊かな芳香と甘みを醸し出し、近年、特に人気が高い。他品種では、冷凍、加工した場合食味が極端に劣化するため、競争力は高い。

市場性

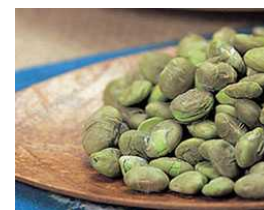
- ・だだちゃ豆ブランドの普及のためには、家庭で茹でて食べるだけでなく、「手軽にいつでもどこでも食べられる」利便性向上が求められる。
- ・手軽さを追求し、ホテルの客室向けなどとして、全国的に販売網の拡大が見込まれる。

販路

- ・若年層への普及のため、コンビニエンスストア、インターネット販売での物産販売を中心に市場規模の拡大が見込まれる。



殿様のだだちゃ豆
(当組合フリーズドライ製品)



新たな加工技術の開発

地域資源における関係事業者との連携

原料確保のため、地域内の加工業者との製造に係る連携を図る。

製品の保存、衛生面や機能面の研究のため地元の大学等との連携を図る。